

山元町議会議長 阿部 均 殿

議会運営委員会
委員長 菊地 康彦

優良市町村視察研修報告書

本委員会は、優良市町村視察研修を行ったので、その結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 研修月日 令和元年7月1日（月）～7月2日（火）
- 2 研修地と研修項目
 - (1) 宮城県加美町 議会改革（開かれた議会）への取り組みについて
 - ・具体的な取り組み状況、課題、今後の取り組みについて
 - ・議員協議会、議会報告会（意見交換会）、議員報酬・定数の検討状況など
 - (2) 山形県朝日町 議会改革（開かれた議会）への取り組みについて
 - ・具体的な取り組み状況、課題、今後の取り組み予定など
 - ・議会意見交換会、議員報酬、定数など
 - ・議会タブレット導入状況、今後の課題について

3 研修地の概要とまとめ

(1) 宮城県加美町

加美町議会に会派は無いため、執行部と対等に議論をするには、議員個人の力だけでは十分でない事から、平成29年5月に「議員協議会」を立ち上げたことにより、チーム加美町議会として慎重な審査に繋がりました、行政に対するチェック機能を強化しながら、議会の活性化に取り組んでいる。その結果、平成30年度全国町村議会表彰を受賞した。

(これまで取り組んできた議会改革・議会活性化策)

- ①一般質問の一問一等方式
- ②議会のインターネット中継
- ③議会だよりモニター制度
- ④正副議長選挙の所信表明演説会の開催
- ⑤小学生の子ども議会の開催
- ⑥議員定数の削減、議員報酬の引き上げ
- ⑦議会基本条例の制定
- ⑧議員としての各種審議会への不参加
- ⑨議会広報編集調査特別委員会を常任委員会に変更
- ⑩正副議長の任期申し合わせ（２年間）
- ⑪一般質問の議員もち時間の確保
- ⑫議長の一般質問
- ⑬議員協議会の立ち上げ（議員間討議）
- ⑭予算・決算審査特別委員会の審査・運営充実
- ⑮議会改革推進協議会の立ち上げ
- ⑯常任委員会の活性化（意見交換会、委員会活動の情報共有、予算・政策要望書）
- ⑰スマートフォンによる議会中継閲覧・QRコードの作成
- ⑱議会だよりの充実（全国町村議会議長会 全国優良賞 受賞等）
- ⑲全員協議会の定期開催
- ⑳タブレット端末の導入

まとめ

加美町議会は、数多くの項目を挙げて議会活性化に取り組んできたが、その中で特に目を引いたのが「議員協議会」と、「タブレット端末の導入」である。

「議会協議会」では、町の事業運営のあり方について問題点を浮き彫りにし、事業計画の中止や決算不認定、予算の修正可決などが行われた。

また、タブレットの導入は、事務の省力化や経費節減に大きな成果をあげ、議員からも利便性が良いとの声が多く、今後の我が議会での検討をする際、十分参考となる内容であった。ただし、貸与者（議員）において操作等の習熟度に差があることが課題としていた。

(2) 山形県朝日町

議会活性化の取り組みとして、平成28年から29年度にかけ議会活性化特別委員会を設置し、町民への開かれた議会、また、町政へ町民の思いが通じる議会改革を行い、議会の活性化に取り組んでいる。その結果、平成30年度全国町村議会表彰を受賞した。

(これまで取り組んできた議会改革・議会活性化策)

- ①議場へのタブレット端末導入
- ②議会意見交換会で聴取した住民の要望等を「予算編成に向けた意見書」として本議会に提出
- ③朝日町議員憲章の策定
- ④政務活動費の透明化
- ⑤議員報酬・議員定数の見直し
- ⑥議決事件の条例化
- ⑦議会の災害対応
- ⑧朝日町ワインが伊勢志摩サミットで公式な会食に選定されたことに対する感謝決議
- ⑨議会広報の充実
- ⑩朝日町議会表彰
- ⑪模擬議会の開催
- ⑫議員活動の長期休止における報酬削減の条例制定について

まとめ

朝日町は人口約7千人の町であるが、町執行部、議会、町民の絆が深く、透明性のある議会活動が展開されていると感じた。

特に、議会との意見交換会は、町内16か所を2班編成で行い、また、各種団体にも意見を求め、より広い範囲からの聴き取りを行い、町民の思いを「意見書」として提出し、予算編成に反映させる施策を行っている。

また、議会独自に、スポーツ、学術研究等、広い分野での功績者に表彰を行うなど、開かれた議会への実現と、議会への関心を高める画期的な策を行っている。議場へのタブレット端末の導入は、加美町議会同様、好評を得ているようである。(事務の効率化、経費節減等)

ただし、議員報酬と、議員定数については現状維持とし、模擬議会、議員の長期休止における報酬減額は、検討の余地があり継続調査としていた。